



この国に、もっと自由を。

— 幸福実現党 政策5本柱 —

- 1 経済成長**  
消費増税ではなく消費減税  
消費税を「5%」に減税し、景気回復・経済成長を実現します。
- 2 外交・防衛**  
自分の国は自分で守る  
他国の侵略から、国民の生命・安全・財産と自由を守ります。
- 3 教育改革**  
未来を拓く人材の育成  
道徳・宗教・歴史教育の充実で、子供たちの心を育てます。
- 4 社会保障**  
すべての世代が輝くために  
自助努力を基調とした社会保障制度の再構築を図ります。
- 5 国家ビジョン**  
自由の大国・日本の実現  
世界のリーダーにふさわしいモデル国家を創ります。



幸福実現党 党首  
しゃく りょう こ  
積 量子

1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。大手家庭紙メーカー勤務を経て、1994年、宗教法人幸福の科学に入局。常務理事などを歴任。幸福実現党に入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。

党員募集

幸福実現党にあなたも参加しませんか

入党資格

- ①幸福実現党の理念と綱領、政策に賛同される方
- ②満18歳以上の方

- 党費は年間5,000円です。
- 資格期間は党費を入金された日から1年間です。
- 党員には機関紙「幸福実現NEWS」(月1回発行)が送付されます。



幸福実現党 hr-party.jp

発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8 電話 03-6441-0754 ©幸福実現党本部 2015年

アベノミクス、国防問題、教育改革……なぜ限界が見えてきたのか!? この真実を知れば私たちが戦いつづける理由がわかる

命を懸ける  
この真実を知ればもう後戻りはできない

命を懸ける  
幸福を実現する政治

幸福実現党党首 積量子  
Kyoko Shaku

大好評 発売中

©幸福の科学出版 ☎0120-73-7707 http://www.irhpress.co.jp/ 発行/幸福実現党 1,188円(税込)



この国に、もっと自由を。

幸福実現党

戦後70年  
日本の誇りを  
取り戻す



党首  
しゃく りょう こ  
積 量子

幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS January 2015 Vol.64

# 道筋を描け 憲法改正への

衆院選での自民党圧勝を受け、憲法9条改正への道筋が見えつつあります。これに対し、左翼陣営からは軍国主義の復活を懸念する声も出ています。こうした反発の背景には、「先の大戦で日本はアジアを侵略した」という東京裁判史観がありますが、これは、日本弱体化をもくろむ戦勝国によって広げられた歴史観にすぎません。

北朝鮮が核・ミサイル開発を急ぎ、中国が軍事力を背景に強引な海洋進出を進める一方で、米国は世界の警察の座から降りようとしています。日本は米国頼みの安全保障体制を見直し、憲法改正はじめ自主防衛力の強化に取り組むことで、国家・国民を守ることはもとより、アジアの平和・安全に積極的な役割を担わなくてはなりません。

## 幸福実現党は

「中国による『南京大虐殺』『従軍慰安婦』のユネスコ記憶遺産への申請に抗議し  
日本政府に万全の措置を求める署名」  
を呼び掛けています

署名用紙は党公式ホームページからダウンロードできます。署名は党本部にて取りまとめ、内閣府を通じて内閣総理大臣宛てに要請を行う予定です。署名用紙は下記の締切日必着で党本部に送付ください。

【第三次締切】1月31日(土)

【第四次締切】3月24日(火)



幸福実現党

検索

【署名送付先】幸福実現党本部  
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8  
電話 03-6441-0754

この一冊に、日本政治の未来を拓く「鍵」がある。  
限界に来た「アベノミクス」に突破口はあるか  
これからの「国防・外交」はどうあるべきか  
「道徳教育」「憲法改正」について  
「成長戦略」として打つべき手とは

絶賛発売中

## 自由を守る国へ

国師が語る「経済・外交・教育」の指針

大川隆法著 発行/幸福の科学出版 1,620円(税込)



世界の秩序が揺らぐなか、日本は一国平和主義から脱却し、アジアのリーダー国家として大きな役割を果たさなくてはなりません。そのためには、国防強化の足かせとなる贖罪意識を払拭するとともに、歴史認識をめぐる日本の名誉回復を急がねばなりません。慰安婦問題への旧日本軍の関与を認めた「河野談話」の白紙撤回はもとより、戦後70年を機に、政府は新たな総理談話を発表し、正しい歴史観に基づく日本の姿勢を内外に鮮明にすべきです。

同時に、歴史教育の充実や対外的な情報発信力の抜本的強化を図り、国内のみならず、国際社会においても公正な歴史認識を共有しなくてはなりません。

日本の誇りを取り戻し、国の守りを強くすることなくして、日本の未来は開けないのです。

# 新談話の発表で 日本の名誉回復を